

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 23 号

2014年1月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

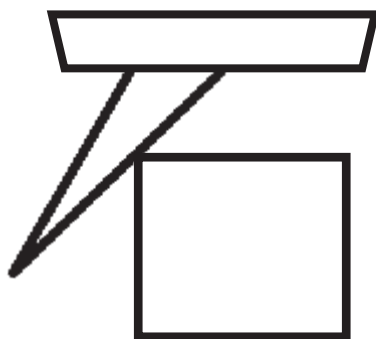
浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

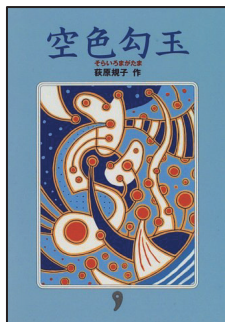
FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

携帯電話用



ヲ読ム

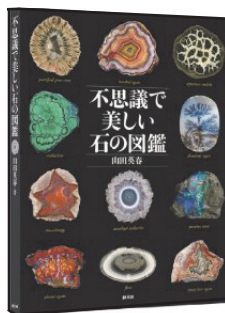


『空色勾玉』

おぎわら まがたま
萩原 規子 作 徳間書店 1996年

狭也は輝の一族の神・月代王に憧れている15歳の村娘。祭の晩、現れた鬼たちに、自分が闇の一族の巫女姫「水の乙女」とであると告げられ、そのしるしである勾玉を手渡される。輝の宮の神殿に封じ込められていた「風の若子」稚羽矢との出会い。国家統一を目指す不死の輝の一族と、転生を繰り返す闇の一族との戦いに、狭也は巻き込まれていく…。

争乱の中で生まれる運命の恋と冒険。神々が地上を歩いていた古代の日本「豊葦原」を舞台に、壮大なスケールで描かれたファンタジー。『白鳥異伝』『薄紅天女』と続く、勾玉3部作の1作目。



『不思議で美しい石の図鑑』

ひではる
山田 英春 作 創元社 2012年

「美しい石」と聞くと、宝石やパワーストーンといった、美術品のようにキレイに加工された物を思い浮かべませんか？ でもこの本に載っているのは、元はゴツゴツしたつまらない石ばかり。しかしその原石を割ってみると、ハッとするとほど美しい模様の断面が現れるのです。

レース織のような縞模様が魅力的な「瑪瑙」や、竜の卵のような「セプタリアンノジュール(亀甲石)」、誰かが描いた絵のように見える不思議な「風景石」。本当に天然のものなのかと驚くばかりの、自然が生み出した美しい石の世界を堪能してください。



『肥後の石工』

いまい ゆきひろ
今西 祐行 作 岩波少年文庫 2001年

肥後の石工頭・岩永三五郎は、薩摩に招かれ5年がかりで石橋を築いた。しかしこの橋には秘密があり、それを守るため石工たちは帰宅途中に殺されてしまった。三五郎も徳之島の仁と名乗る男に狙われるが、命乞いもしない三五郎の態度に気を削がれた仁は、代わりにこじきの首をもって薩摩へ帰っていった。父を殺されたこじきの子・里、そして石工たちの家族の恨みは、三五郎に向けられるが…。

江戸時代に実在した名工、岩永三五郎がモデル。苦悶しながらも、技術を伝えることに情熱を注いだ職人の生き様を描いた物語。



『海辺の宝もの』

へれん・ぶっしゅ 作 とりみ まさお 訳 あすなる書房 2012年

11歳の女の子・メアリーの大好きなこと、それは“変わり石集め”。遠い昔に海にいた生物が石になった、魔法みたいに不思議な石を集めることです。

でもある日、変わり石集めを教えてくれたやさしい父さんが、死んでしまいました。悲しみにくれ、生活も苦しくなる中、メアリーはとびきりすてきな考えを思いつきます。「そうよ、わたしが変わり石を集めて、それを売るお店を開けばいいんだわ！」

約200年前のイギリスで、世界中の人が驚く大発見をした、実在の小さな化石収集者、メアリー・アニングの物語。



『セブスタワー』

がーす・にくす 作 西本 かおる 訳 小学館 2003～2005年

空一面が黒いまくに覆われた闇の国。7色にきらめく塔に囲まれた城だけが光を放ち、その中には色と同じ7つの階級の選民たちが暮らしている。オレンジ階級のタルは、病気の母親と弟妹と暮らす、ごく普通の少年だ。

もうすぐすべての選民が、太陽の光の降り注ぐ魔法の国を目指す、「大移動の日」がやってくる。そのために必要な第1級のサンストーンを手に入れようと、タルはあらゆる手立てを尽くすが、タルを陥れようとする役人にすべて邪魔されてしまう。失意のタルに授けられた、突拍子もない作戦とは？

タルの長い旅が今始まる。シリーズ全6巻。



『聖石の使徒 其は焔をまとう者』

せいせき そほむら
前田 珠子 作 コバルト文庫 2001年

「瘴の女神の眠りを妨げてはならぬ——」

瘴気を封印し、この世界を守るため女神は眠りについた。その眠りを守るために聖石の使徒が生まれた。

聖石の子供の一人アラクセイトは、石の中でもありふれた石墨を抱いて生まれてきた、いわゆるおちこぼれ。しかし彼女には、誰にも告げたことのない秘密の力があった。

ある日、優秀なルームメイト・ソラミノと一緒に副神殿長に呼ばれたアラクセイトは、二人の珊瑚の使徒と出会い、世界を救うお手伝いに駆り出されることに…!?

ほんの
ひととき。



石のスープってどんな味？

『せかい いち おいしいスープ』

マーシャ・ブラウン 絵

こみや ゆう 訳

岩波書店 2010年

おなかをすかせた兵隊たちが、
石のスープを作ります！

フランスに昔から伝わる楽し
い民話の絵本です。



未知の世界に踏み出そう！

2014年がスタートしました。
今年は読んだことのないジャンル
に手を出してみてもはどうでしょう
か？ はびを使って、お気に入りの
本を探してみてください。

今回は「石」をテーマに7冊の本
を紹介しました。

次回
予告

はぴ24号（4月発行）のテーマは「？」

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの印刷経費は3円

